

プロレタリア通信

共産主義者同盟南紙 東京五反田五丁目一丁目 電話 72-5737 1959.10.10 No.21

日本階級斗争の中心課題

二炭労斗争を全力をあげて支援せよ

(炭労斗争について)

炭労大会が終つた七日、四五八の各の希望選挙を中心とする三井鉱山と三井炭労の固交は決裂した。

六日、三菱鉱山は、九折九山からの十名の希望選挙の募集と、赤坂、上山田の両山を襲撃した。九日三鉱連は中斗を期す「三鉱連争下四」の闘行闘と募集は、一切の選挙を認めず、炭石の血の一筋まで闘う」という非階級主義を暴露、希望選挙の除名という二小まで炭労が反とんとつた二ことがあつた。

二十九年の百十三日ストのとき三井三改だけかやつた最高度の犠牲をもつて闘つたことを暴露した。十日、日赤二礦は百二十名の解雇を発表、炭労は、三鉱連、井島の十三日からひまら火、金の二四時間の反復スト、二礦の十一日から七二時間の反復ストを指令した。

十日、東林三井鉱山社長は再選挙の一の約束を指し、炭労の首切反対の斗いはいよいよ決定段階に入つた。

十人の首切と石炭産業の体系的改革をめざす石炭資本からの決定的攻撃がかけられている。

三鉱連の首切善は、決定的闘いに立上つた。

今日、全炭産業へとくに通信運輸部門で進んでいる合理化は多くの組織、首切り、労働条件低下を

くりだしている。労働者はこれと各業界で激しく抵抗しているが、その斗いが指導部の日和見によつて全面的な威力を斗争に高められてはいない。

炭労の斗争は合理化反対斗争の一つの決戦を意味する。炭労を支援すればフルジョージーは、国野、電通への首切へ攻撃を進めるだろう。

資本家階級にとっては、日本の労働者階級の最大最強の武器である炭労は、憎悪の的だ。闘争でも、合理化反対斗争でも、破産闘争、反法闘争でも先頭に立つて闘つた炭労に大打撃を加えることは、彼らの目標だ。

合理化による高効率炭坑中心の炭坑の再編成と、大規模首切りによつて、資本家は、炭労をかつての遺産がたどつた途につき詰とせうとしている。

炭労にたいする合理化を一時の許さないこと、一人のクビキリもやまに出さないこと、そのために、この斗いの階級的意義を明確に把握し、斗いの方向をハッキリとつかみ、勝利のため全力をつくすことが、われらの任務だ。

るべきに結果をたもたせらるる。
「イロハニホフテ」の、悪魔的に我闘闘に力敵ナシ、敵の攻直に暗殺
的攻撃の、ノイもくめをたもたせらるる。

革命的労働者は大産主義者同盟に結果せん、

〈追記〉

斗争は急テンホですすんでいる。

二瀬の指名解雇についで、三井の指名解雇が二五、六日から
出まうとしている。

二瀬の労働者は流血の斗いをくりかえしている。
まもなく警察権力が導入され、三兆一千万五千の労働者と五十の
警官隊との対峙がはじまろうとしている。

北九州に部分的な内乱状態がつくりだされようとしている。
資本主義の矛盾のムキタシの露呈、階級階級の流血の斗いが、
全人民の眼前にくりひろげられようとしている。

スロレタリマートは、この斗争とともに決起し、日本スルジョ
アジエを擁護せしめ、階級斗争の新たな高揚をつくりださねばな
らぬ。

炭鉱斗争を支援せよ、

安採とともに炭坑支持をせよ！

北九州の斗いを全口へ！

スルジョアジエをして炭坑の斗いに戦標せしめよ！

炭鉱労働者の英雄的斗争こそ！

十月十日